

『任夫』になると、みんながHappy!!



将来につながるパパの家事・育児

ママの『夢』知ってますか!?



子育てにも積極的にかかわり、なおかつ料理をはじめとする家事をこなすパパ、つまり「任夫」になることは、ママにも子どもにも良い影響をもたらす、家族がより幸せを感じられることになるでしょう。そのことは、きっと自分にも『幸せな人生』として返ってきます！

パパが子育てにかかると…

- パパの「モデル」を子どもに示すことができる。
- 思春期をうまく乗り越えられる。
- 子どもが、「自分も幸せな家庭を築きたい」と願うようになる。

パパが家事にかかると…

- ママが社会に出られて、二人の人生の選択肢が広がる。
- 万一、家族が病気になっても、自分が支えることができる。

そして…何よりも大切なのは、夫婦の**コミュニケーション**。
子育ては、できる限り、夫婦が**想い**を共有して取り組みたいものです。

子育ては期間限定のプロジェクト

十数年の子育てののち、夫婦二人の人生が始まります。その時になって、子育てに協力して取り組んで培った絆が生きてきます。子どもには子どもの**夢**があるように、パパにはパパの、ママにはママの**夢**があるはず。将来、夫婦とともに**夢**を実現できたら、素敵な人生ですね。この「よかパパスイッチ」を読まれたあなたにも、限られた子育て期間の後に、家族の絆がより深まっていることを信じています。

ママからパパへ、パパからママへ —— 感謝のこぼれ

パパママ意識調査では、「ありがとうの言葉」や「うれしかった一言」を書いてもらいました。そこからは、幸せな家族の姿が浮かび上がってきます。

パパへ：出産の時、心細い私を側にいて、ずっと手を握っていてくれてありがとう。とっても嬉しかったよ。

ママへ：仕事を理由に『今は忙しいから』と育児を逃げてたけど、これからは少しでもママの手伝いするね。

パパへ：息子にブロックで大きなロボットを作ってくれて「私にはできない…」ととても感心しました。

ママへ：とってもほめ上手なママ。ちょっとした事で「おむつ交換とっても上手」「パパの方がなついてるんじゃ?」なんて。つついのせられてがんばっちゃいます。

パパへ：最初はあんなに嫌がってた子どものお風呂。今は喜んで入れてくれてありがとうね。

ママへ：子育てに家事、毎日大変なのに、仕事が遅くてごめんね。たまにはゆっくり出来るよう、休みの日は心配せずにお出かけしてね。

よかパパ体験談

気がつけばパパになってまもなく12年。その間、性格の違う四人の子育ては、「叱りすぎてしもた〜」など、反省の日々。「良い父親」になろうと無理をしていたようにも思います。「父親の子育てマイスター」養成講座を受講し、パパの仲間ができて気がついたことは、「子育てには正解はない」ということです。10人のパパがいれば、10通りの子育て像があります。今は、難しく考えすぎず、何よりもまず「楽しむこと」を大切にしています。最近、嬉しかったことがあります。私が入院生活から自宅に戻ってきたとき、部屋に「おとうさん、おかえりなさい」の横断幕が！自分が子どもたちにしてきたことが、自分に「返ってきた！」と感じられ、感動した瞬間でした。(夢旅人パパ)



父親の子育てを応援する「パパサークルのご紹介」

四日市市内にもパパ同士で楽しく活動しているサークルがあります。ご紹介するサークルは、四日市市が開講した『父親の子育てマイスター』養成講座の修了生が有志で活動しているサークルです。

- **Happyよかパパ** (22年度修了生) URL http://island.geocities.jp/happy_yokapapa/
- **パパ魂** (23年度修了生) ブログ <http://papadamashii.seesaa.net/>
- **PAPA-SUNS** >> 468 (24年度修了生)